



東京・池袋の公園で行われた新型コロナ災害緊急アクションの相談会。相談に来た男性の話



参加 小池氏ら

新型コロナウイルス感染症の拡大で仕事や住まいを

路頭に迷う人こんなになに…

東京で緊急相談会

失い困窮する人に食料などを支援し、行政の支援につ

の順番を待つ姿が。第一波のころ職場を解雇

なげるための緊急相談会が31日、東京都豊島区の東池袋中央公園でありました。

された男性(50)「北区」は連日、食料支援が行われている場所を回っているとい

反貧困ネットワークなどでつくる新型コロナ災害緊急アクションが主催。日本共産党の小池晃書記局長、山

います。「家はあるけど、食料を買うお金がない。エアコンも使わず、震えてい

産党の小池晃書記局長、山添拓参院議員、谷川智行衆院東京ブロック比例候補が

る。生活保護を受給しても、役所から早く仕事を見

駆けつけ、ボランティアスタッフの一員として、医療

かしい。改善すべきだ」と語りました。

・生活相談に感じました。

エンジニアとして23年間

寒空の下、食料配布が始まる前から、多くの人たち

働いた会社からコロナを口実に退職を強要された50歳

の男性「豊島区」も、貯蓄「世界の医療団」のスタッフがだんだん尽き不安が募る。たちとともに、医療相談に

中生活相談に訪れました。「路頭に迷う人がこんなに出ているのに、生活を守る

うとしない政治にも怒りを感ずる」と話しました。医師の小池、谷川両氏は

無料低額診療を実施する医療機関を紹介しました。

無料低額診療を実施する医療機関を紹介しました。